

令和4年度みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

産地戦略

事業実施主体名： 永平寺町有機農業推進協議会

都道府県名： 福井県 対象品目： 水稻

策定年月： 令和5年3月 目標年次： 令和9年

環境負荷軽減の取組

○	化学農薬の使用量低減		化学肥料の使用量低減		有機農業の取組面積拡大		温室効果ガスの削減 (水田からのメタンの発生抑制)
○	温室効果ガスの削減 (バイオ炭の利用)		温室効果ガスの削減 (石油由来資材からの転換)		温室効果ガスの削減 (プラスチック被覆肥料対策)		温室効果ガスの削減 (CO2、N2Oの排出削減)

第1 事業実施地域の現状と目指すべき姿

1 事業実施地域

福井県吉田郡永平寺町

2 事業実施地域の現状

永平寺町では、環境負荷軽減の取組として、米の化学肥料・化学農薬の使用を減らした特別栽培に取り組んでいる。
特に特別栽培米のうち農薬も化学肥料も使用しない方式ではれんげを緑肥として使用しており、「れんげ米」の名称で付加価値の高い米として販売している。
一方、特別栽培は労働負荷が大きいことや、収量が安定しないこと等の課題がある。

3 事業実施地域を目指すべき姿

省力化や収量向上および、さらなる環境負荷軽減に向けた栽培体系を検証することで、地域として持続可能な農業を進めていく。

第2 グリーンな栽培体系の普及に向けた取組

1 今後普及すべきグリーンな栽培体系

ア 取り入れる技術

	取り入れる技術	期待される効果
環境にやさしい栽培技術	<ul style="list-style-type: none">・ラジコンホバークラフト導入・バイオ炭の施用	<ul style="list-style-type: none">・化学農薬使用回数・量の減・炭素貯留効果・土壌改良
省力化技術	<ul style="list-style-type: none">・無人田植え機（直進アシスト機能付き田植機）・ドローン等によるセンシングと無人ヘリ施肥	<ul style="list-style-type: none">・作業の能率化および熟練オペレータ以外でも作業精度の維持・肥料、作業時間、肉体的負担の削減

2 新たな栽培体系の普及に向けた目標

ア 環境負荷軽減の目標

指標		年度	R 4 (現状値)	R 9 (目標値)	増減率 (%)	備考
1	化学農薬の使用量低減		8	5	▲37.5%	特別栽培米④
	単位	成分数				
2	温室効果ガスの削減 (バイオ炭の利用)		0	2	-	
	単位	ha				
3						
	単位					

イ 省力化目標

指標		年度	R 4 (現状値)	R 9 (目標年次)	増減率 (%)	備考
1	ドローン等によるセンシングと無人ヘリ施肥		10分～25分	4分	▲60%～▲84%	農水省HP「水稻向け肥効調節型肥料の効果的かつ適正な使用と追肥手法について」より動噴散布機による作業時間を想定 目標年次は実演会で測定した時間より
	単位	分/10a				
2						
	単位					
3						
	単位					

ウ 普及を目指す面積

(単位 : ha)

指標		年度	R 4 (現状値)	R 9 (目標値)	増減率 (%)	備考
対象品目全体の作付面積			646	646	0%	
うち、グリーンな栽培体系に取り組む面積			0	4.4	-	
普及割合			0%	1%		

第3 関係者の役割分担及び取組内容

構 成 員	役割分担及び取組内容				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (目標年次)
福井県 (普及組織：福井農林総合事務所)	技術の普及 ・栽培技術の紹介 ・管理情報の発信	技術の普及 ・栽培技術の紹介 ・管理情報の発信	技術の普及 ・栽培技術の紹介 ・管理情報の発信	技術の普及 ・栽培技術の紹介 ・管理情報の発信	技術の普及 ・栽培技術の紹介 ・管理情報の発信
JA福井県 永平寺支店	技術指導	技術指導	技術指導	技術指導	技術指導
永平寺町	技術の普及補助 特別栽培米のPR情報発信	技術の普及補助 特別栽培米のPR情報発信	技術の普及補助 特別栽培米のPR情報発信	技術の普及補助 特別栽培米のPR情報発信	技術の普及補助 特別栽培米のPR情報発信